

平成 26 年 5 月 26 日
環境生活部環境生活企画室

県政記者クラブ各位

平成 26 年度 第 2 期若手ゼミについて

県は、5 月 29 日（木）、**庁内若手職員による若者施策研究会「第 2 期若手ゼミ」**の第 1 回ワークショップを開催します。

若手ゼミは、**岩手の若者が主役になって躍動・自己実現するための施策を研究・実践**する若手県職員グループであり、他都道府県に例を見ない取組です。

第 1 回ワークショップでは、**千葉副知事からミッション**が提示されるほか、平成 26 年度の**若者支援プロジェクトに係る説明やグループワーク**を行い、7 月以降、知事に対する中間報告（プレゼン）等を予定しています。

ついては、これら取組の県民への周知を計るため、取材等の御対応をいただきますよう、よろしくお願いたします。

1 日時・場所等

- (1) 日 時：平成 26 年 5 月 29 日（木）13:00～17:00
- (2) 場 所：県庁 8 階 8E 会議室
- (3) 内 容：副知事によるミッション提示、若者支援プロジェクト説明ほか
- (4) 参加者：若手県職員約 20 名（各部署局長等推薦）ほか関係者 7～8 名

2 若手ゼミ（庁内若手職員による若者施策研究会）について

- (1) ミッション：若者が主役になって躍動・自己実現するための施策の研究・実践

【活動の方向性】

若者に内在する潜在的なパワーを引き出し、大きなエネルギーとして増幅させることによって、岩手の新たな魅力（ソフトパワー）を引き出し、「ココで暮らしたい」、「岩手は面白い」と思えるような「クリエイティブいわて」を形づくる。

- (2) 具体的な研究活動（例）

- ア 新規施策の企画・立案（昨年度提案の継続研究を含む）
- イ 提案を踏まえた実践活動



【参考】 若者支援プロジェクトの目指す姿

- (1) 若者のネットワークが広がり、多様な交流の場が形成されること
- (2) 地域や社会で若者が自主的に活動し、すべての世代が活性化すること

担当：環境生活企画室（工藤）内 5384・若者女性協働推進室（高橋）内 5348